

兵高教組 調査情報 2015年9月8日 12号

兵庫県高等学校教職員組合調査部
TEL : 078-341-6745
FAX : 078-351-3185
URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>
mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

8/30 国会包囲12万人 全国各地で「戦争法案廃案」の声あがる



8/30 国会正門前

政府は国民の声を聞け!

8月30日、「総がかり行動実行委員会」の呼びかけに応じた国民12万人が国会周辺を埋め尽くし、「戦争法案いまずぐ廃案」と怒りのコールをとどろかせました。また、これに呼応して全国数百か所で行われた集会に集まった市民は数十万人にのぼりました。兵庫では、8月29日の神戸・尼崎・姫路・豊岡・淡路で行われた集会に6000人が集結しました。全国各地で連日集会が取り組まれ、多数の市民が「戦争法案を廃案に」の声をあげています。

戦争法案の実態 = 「海外で米国と一緒に戦争する国づくり」が暴かれ、日に日に高まる「廃案に」の声

菅官房長官は、30日に全国で取り組まれた行動について「一部の野党やマスコミから戦争法案だとか徴兵制の復活などの宣伝もされ、大きな誤解が生じていることは極めて残念だ」と表明したと伝えられました。

しかし、圧倒的多数の憲法学者や弁護士、各地の大学、さらには歴代内閣法制局長官からも「憲法違反の法案を廃案に」の声が上がっています。元最高裁判所長官も、法案は憲法違反だと批判しています。市民も、法案の違憲性を肌で感じ、理解を深めて自発的に立ち上がっています。

参院審議で次々と暴かれる驚くべき実態

「日本人を載せた艦船を守る」はウソ — 立法の根拠崩れる

安倍総理大臣は、集団的自衛権行使容認閣議決定や戦争法案の説明で、「戦地」から逃げる日本人を載せた米艦の絵を出し、この米艦を守るために法案が必要だとしました。しかし、中谷防衛相は、「存立危機事態」における米艦防護は、日本人が乗っているかどうかは「絶対的なものではない」と答弁しました。立法事実が崩れ、国民を欺いていたことが明らかになりました。

「後方支援」で非人道兵器・核兵器も運搬可能

米軍を支援する兵たん活動（＝物資の輸送等。政府の言う「後方支援」）では、クラスター爆弾や劣化ウラン弾など非人道兵器や、核兵器の運搬までも、法文上は除外されていません。放射能をまき散らす劣化ウラン弾については、中谷防衛相は「当然運ばないと相手先と協議している」と答弁していましたが、後になって「個別に協議したことはない」と撤回しました。

法案成立を見越し、自衛隊内で部隊運用計画を策定

戦争法案が衆議院に提出された5月末ごろ、自衛隊内で、法案成立を見越した具体的な計画が立てられていたことが、内部文書の暴露で明らかになりました。これによると、○自衛隊を「軍」として、米軍との「軍軍間の調整所」を設立し、平時から米軍の指揮下に入る ○南スーダンに展開しているPKO（平和維持活動）で、法律改定により「駆けつけ警護※」が業務として追加される可能性がある（※他国部隊の戦闘に参加すること）など、国会で全く説明もされていないことが記されています。安倍首相は「(法案の具体化として)分析や検討を行うのは当然」と、この自衛隊の暴走を容認しました。

自衛隊トップが法案成立を米軍に約束 — 法案提出の5か月前に

さらに、自衛隊トップの統合幕僚長が、昨年12月の総選挙直後に米軍高官などと会談し、その中で、戦争法案について米側から「予定通りに進んでいるか？」と問われ「与党の勝利により来年夏までには終了する」との見通しを伝えていたことが、内部文書の暴露で明らかになりました。（統合幕僚長は、発言の内容を事実上認めています）会談時期は、法案の閣議決定はおろか、与党協議も行われていません。中谷防衛相は、この文書の存在を認めることについて「米国との信頼関係に関わる」と言いました。戦争法案は、日本が米国に従属する関係の中でつくられようとしています。

国会情勢は緊迫、廃案に向けて全力を！

自民党の高村副総裁が、6日、戦争法案について「国民の理解が得られていないと言うのはある程度その通りかもしれないが、十分に理解が得られていなくてもやらなくてはならないときがある」と述べたと報道されています。来週に参議院で強行採決するとの報道もあります。

自公政権の暴走は、国民の運動の力でストップさせなければなりません。私たち教職員も、「教え子を再び戦場に送らない」の誓いを守り抜くため、全力を尽くしましょう。

全国教職員投票に寄せられた「ひとこと」 教職員ひとりひとりの思いを取り組みに！

- ・両親が自営業で時代のあおりを受けて頑張っている姿を見て育った私は教師に弟3人は自衛官になりました。教え子たちも弟も幸せになってほしい。戦争は絶対嫌です。
- ・日本の未来、子どもたちの未来に不安しか感じません。こんなことになるのなら、子どもを産むじゃなかった…とも思ってしまう。おだやかで安心して暮らせる国であってほしいです。

戦争法案廃案のとりくみを、高教組HPトップページに掲載しています。